

セタン価測定装置

CID 510

ディーゼル燃料油及びバイオディーゼル燃料油のセタン価を高精度で測定できます。

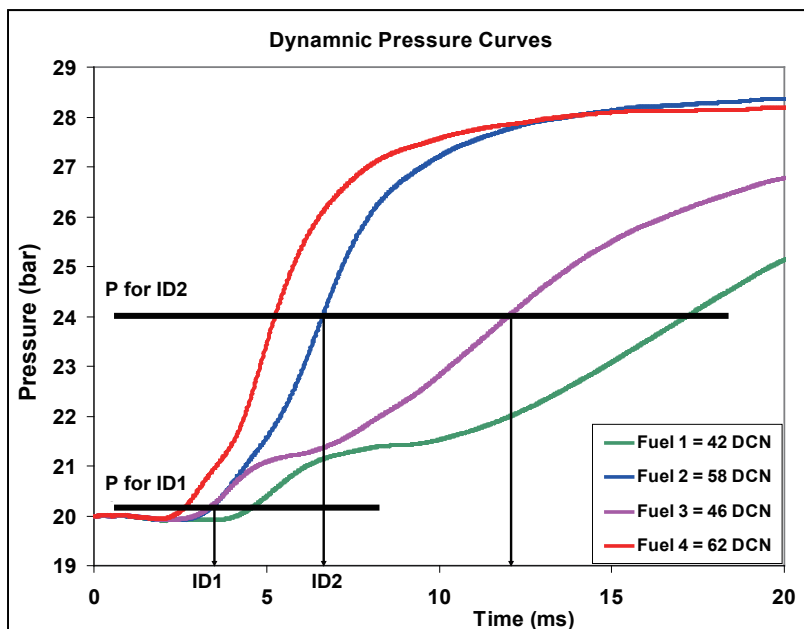
PAC社の新しい Cetane ID 510は、高度にコンピューター化されたセタン価測定装置です。このシステムは、キャリブレーション及び実サンプルの測定に対し“ワンボタン”で行えるよう、完全自動化されています。

用途

搭載されているコンピューターにより点火からの遅れ時間を測定し、セタン価(DCN)への変換を行います。この測定方法は全てのタイプのディーゼル燃料とバイオ燃料、セタン価向上剤が添加された軽油等、全ての軽油に適用できます。

特徴

燃料噴射システムは、最新の高圧コモンレール方式を採用し、高精度に制御されています。このコモンレール方式燃料噴射システムは、サンプルを1500気圧まで加圧し、完全に気化させることにより、煤煙のでない燃焼を可能にしました。また、電子制御された燃料噴射システムは、機械式噴射システムと比較して再現性の良い結果が出ます。



ASTM D7668

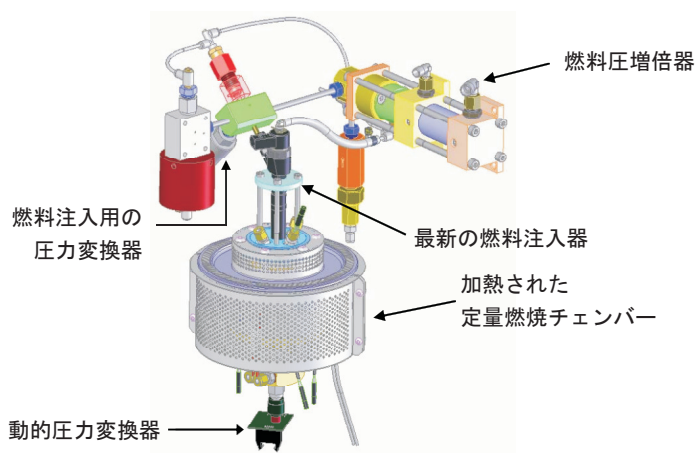
セタン価測定装置の利点

- ・ 簡単な操作で測定できます
- ・ ワンボタン操作
- ・ 動作は完全自動化されています
- ・ キャリブレーションは自動で行います
- ・ 燃焼効率の良い高圧注入器
- ・ 特許取得の多点ID測定の精度改善
- ・ セタン添加物を含む試料に対して理想的な測定を提供
- ・ バイオ燃料とその混合油の全てのタイプに対して有効
- ・ 装置組込の安全装置により自動的に火災を検知



仕 様

操作	
燃焼チェンバー	ステンレス製
サンプル導入	試料容器に入れ、その後外部から供給される窒素により加圧される。
サンプル量	1回の測定あたり最低160mL 次の試料用の共洗いの為約160mL 必要
測定時間	約30分
測定のための装置準備時間	約40分
セタン価の測定範囲	35～65 DCN
クリーニング	次のサンプルを使う。
測定レポート	
オペレーター	最大10名まで登録可能
測定条件の確認	本体メモリーに保存されている設定値と測定条件数値
自己診断とキャリブレーション	キャリブレーションのシーケンスは自動化されています。操作しやすい自己診断機能により、エラーメッセージへの対応と装置の機能テストが行えます。
測定データ	測定日時を伴う測定結果の詳細報告、 最終100回の測定結果を保存するデータベース、 内蔵プリンタによる結果の印刷
外部接続	
燃焼用空気（合成圧縮空気）	酸素濃度 20.0% ±1.0% 窒素にて調整） HC含量 <0.003 vol.% 水分含量 <0.025 vol.% 供給圧力 21-25 bar、 接続 Swagelok 1/4 （接続チューブは装置付属）
窒素ガス	純度 99.9% 供給圧力 8-10 bar、 接続 Swagelok 1/4 （接続チューブは装置付属）
外部冷却システム	最低260Wattの冷却能力があり、50℃で制御可能なこと。 冷却システムが動作していない場合、フローモニターシステムは装置をロック（動作不能な状態）します。
その他の仕様	
電源	AC 115V又は230V, 50/60Hz （自動切り替え）、 Max. 3kWの入力電力が必要
装置の使用環境	使用のための温度条件としては 10℃～35℃、 但し15℃～25℃を推薦、湿度は35℃で80%R. H.
装置のサイズ	600(W) x 660(D) x 660(H) mm
重量	80kg



Kenケン商品開発株式会社

〒183-0005
東京都府中市若松町1-7-15 サンプラザ102
電話：042-306-6040 FAX：042-306-6041
E-Mail info@ken-pd.com
URL www.ken-pd.com